



2026年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月9日

上場会社名 株式会社 マルゼン

上場取引所 東

コード番号 5982 URL <https://www.maruzen-kitchen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 恵一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 君塚 浩二

TEL 03-5603-7111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	50,552	4.4	4,902	2.7	5,441	4.7	3,800	6.6
2025年2月期第3四半期	48,403	5.7	4,772	21.2	5,195	21.0	3,565	21.7

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 3,829百万円 (5.3%) 2025年2月期第3四半期 3,635百万円 (17.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	239.82	
2025年2月期第3四半期	225.94	

「1株当たり四半期純利益」は、株式給付信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期第3四半期	74,635	50,326	67.4	3,175.05
2025年2月期	70,654	48,492	68.6	3,061.58

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 50,326百万円 2025年2月期 48,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期		45.00		70.00	115.00
2026年2月期		55.00			
2026年2月期(予想)				60.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	65,000	1.2	6,150	0.9	6,750	1.4	4,700	296.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」は、2025年11月期末時点で株式給付信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、〔添付資料〕P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年2月期3Q	19,780,000 株	2025年2月期	19,780,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年2月期3Q	3,929,483 株	2025年2月期	3,940,956 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年2月期3Q	15,845,345 株	2025年2月期3Q	15,782,273 株
------------	--------------	------------	--------------

「期末自己株式数」には、株式給付信託口が保有する当社株式数が含まれております。また、「期中平均株式数(四半期累計)」の計算において控除する自己株式には、株式給付信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、〔添付資料〕P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(会計上の見積りの変更に関する注記)	7
(四半期貸借対照表に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年3月1日～2025年11月30日）における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が続いたものの、米国の通商政策の影響が自動車産業を中心にみられることや、国際情勢による地政学的リスクの影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いています。当社グループの主要顧客の一つである外食産業におきましては、インバウンド需要は引き続き堅調であるものの、諸物価の値上がりの中で顧客の節約志向が高まりを見せていることや、物流費をはじめとする諸経費の上昇、また深刻な人手不足の影響などもあり、中食産業を含めて業種業態によりその状況は様々で、予断を許さない状況が続いています。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、505億52百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は49億2百万円（同2.7%増）、経常利益は54億41百万円（同4.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては38億円（同6.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①業務用厨房部門

主たる事業の業務用厨房部門では、当社グループの多岐にわたる販売先業種・業態のお客様に対し、業界随一の豊富で多種多様なオリジナル製品の中で、高品質・高機能・低価格で安全性も高い厨房機器や、省エネ、作業環境の向上などSDGsにも貢献する厨房機器の提供、サービスマンテナンス体制の強化等に積極的に取り組みました。また、インバウンド需要などを受け外食チェーン等への販売が堅調に推移し増収となりました。利益ベースにおきましては、原資材価格の高止まりや物流費など諸経費の上昇、および人的投資に伴う人件費の増加がありましたが、これを吸収して利益を確保しております。

以上の結果、売上高は482億40百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は50億61百万円（同2.0%増）となりました。

②大型製パン機械部門

大型製パン機械部門では、国内外の製パンメーカーや異業種の各種食品工場に向けて拡販に取り組みました。その結果、売上高は19億58百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益は2億76百万円（同74.6%増）となりました。

③ビル賃貸部門

土地と資金の有効活用を目的としたビル賃貸部門は、前期の期中に1物件で賃貸借契約が満了し4物件となったことから、売上高は3億68百万円（前年同期比13.2%減）、営業利益は2億31百万円（同18.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部は、売掛金の回収が順調に推移したため現金及び預金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ39億80百万円増加の746億35百万円となりました。

負債の部は、仕入債務が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ21億47百万円増加の243億9百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等で、前連結会計年度末に比べ18億33百万円増加し503億26百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月11日付公表の「2025年2月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,847,011	38,017,791
受取手形及び売掛金	9,071,730	9,596,807
商品及び製品	3,461,233	3,906,709
仕掛品	742,116	916,718
原材料及び貯蔵品	1,632,532	1,801,347
その他	188,802	522,843
貸倒引当金	△7,103	△4,319
流動資産合計	50,936,324	54,757,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,798,572	18,970,942
減価償却累計額	△12,298,629	△12,612,375
建物及び構築物（純額）	6,499,943	6,358,567
土地	7,854,871	7,854,871
建設仮勘定	13,728	7,933
その他	10,027,878	10,429,086
減価償却累計額	△8,598,533	△8,775,381
その他（純額）	1,429,345	1,653,704
有形固定資産合計	15,797,889	15,875,077
無形固定資産	35,756	49,501
投資その他の資産	3,884,577	3,952,794
固定資産合計	19,718,223	19,877,373
資産合計	70,654,547	74,635,271

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,015,188	4,302,916
電子記録債務	10,001,468	11,391,741
未払法人税等	1,306,982	644,009
前受金	877,484	1,126,450
賞与引当金	810,000	404,500
役員賞与引当金	62,310	46,732
その他	1,877,485	2,906,936
流動負債合計	18,950,919	20,823,287
固定負債		
退職給付に係る負債	2,161,019	2,195,110
その他	1,050,068	1,290,725
固定負債合計	3,211,088	3,485,835
負債合計	22,162,007	24,309,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,164,950	3,164,950
資本剰余金	3,525,583	3,553,011
利益剰余金	49,750,455	51,514,525
自己株式	△5,123,456	△5,110,788
株主資本合計	51,317,532	53,121,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,851,599	1,859,168
土地再評価差額金	△4,543,591	△4,543,591
退職給付に係る調整累計額	△133,000	△111,126
その他の包括利益累計額合計	△2,824,992	△2,795,549
純資産合計	48,492,539	50,326,148
負債純資産合計	70,654,547	74,635,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 3 月 1 日 至 2024年11月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 3 月 1 日 至 2025年11月30日)
売上高	48,403,735	50,552,317
売上原価	34,791,150	36,342,072
売上総利益	13,612,585	14,210,244
販売費及び一般管理費	8,839,592	9,308,007
営業利益	4,772,992	4,902,236
営業外収益		
受取利息	16,281	117,446
受取配当金	72,239	94,073
固定資産賃貸料	17,377	16,492
仕入割引	119,859	124,876
作業くず売却収入	177,662	156,465
その他	23,345	34,936
営業外収益合計	426,766	544,290
営業外費用		
支払手数料	2,312	4,460
その他	1,859	541
営業外費用合計	4,172	5,001
経常利益	5,195,586	5,441,525
特別利益		
固定資産売却益	6,845	1,307
投資有価証券売却益	—	104,926
特別利益合計	6,845	106,233
特別損失		
固定資産除却損	80	14,895
特別損失合計	80	14,895
税金等調整前四半期純利益	5,202,352	5,532,863
法人税、住民税及び事業税	1,535,349	1,608,928
法人税等調整額	101,183	123,916
法人税等合計	1,636,532	1,732,844
四半期純利益	3,565,819	3,800,018
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,565,819	3,800,018

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	3,565,819	3,800,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,955	7,568
退職給付に係る調整額	11,698	21,874
その他の包括利益合計	69,653	29,443
四半期包括利益	3,635,473	3,829,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,635,473	3,829,461
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いおよび「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表並びに連結財務諸表となっております。なお、これによる前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(四半期連結会計期間末日満期手形)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当第3四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
受取手形	一千円	33,685千円
電子記録債権	—	78,883
支払手形	—	28,681
電子記録債務	—	2,934,554
設備関係支払手形	—	11,155
設備関係電子記録債務	—	92,371

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	656,249千円	702,265千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	業務用厨房機 器製造販売業	大型製パン機 械製造販売業	ビル賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,251,975	1,727,303	424,456	48,403,735	—	48,403,735
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	15,818	—	15,818	△15,818	—
計	46,251,975	1,743,122	424,456	48,419,554	△15,818	48,403,735
セグメント利益	4,960,716	158,352	285,310	5,404,379	△631,387	4,772,992

(注) 1. セグメント利益の調整額△631,387千円には、セグメント間取引消去90,000千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△721,387千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益について、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	業務用厨房機 器製造販売業	大型製パン機 械製造販売業	ビル賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,240,726	1,942,984	368,606	50,552,317	—	50,552,317
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	15,082	—	15,082	△15,082	—
計	48,240,726	1,958,066	368,606	50,567,399	△15,082	50,552,317
セグメント利益	5,061,219	276,451	231,889	5,569,560	△667,324	4,902,236

(注) 1. セグメント利益の調整額△667,324千円には、セグメント間取引消去90,000千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△757,324千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益について、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。